

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代表者名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード: 7779 東証グロース)
問合せ先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部 門 責 任 者
(電 話: 029-869-9981)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2022年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表した2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2021年3月期、2020年4月1日~2021年3月31日)との間に開示基準以上の差異(親会社の所有者に帰属する当期利益の減益)が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 2021年3月期連結業績の前期実績値との差異(単位:百万円)

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	1株当たり 当期利益
前期実績値(A)(2021年3月期)	1,875	△700	△59	△0.27
当期実績値(B)(2022年3月期)	2,150	△868	△492	△2.29
増減額(B-A)	275	△168	△433	
増減率(%)	14.7%	△23.9%	△739.1%	

2 差異が生じた理由

当連結会計年度の経営成績は、売上収益は、海外向けHAL等のレンタル売上及び新型コロナウイルス感染症の影響からの回復と米国拠点の獲得によるサービス売上の増加により、2,150百万円(前年同期比14.7%増加)を計上しました。売上総利益は1,462百万円(同13.9%増加)となりました。研究開発費は前年度に引き続き新製品の自社開発及び受託研究事業の実施により713百万円(同3.4%増加)を計上、その他の販売費及び一般管理費はM&Aの影響により1,787百万円(同21.5%増加)を計上しました。その他の収益は、受託研究事業収入などにより175百万円(同3.0%減少)を計上、その他の費用6百万円(同36.3%増加)を計上した結果、営業損失は868百万円(同23.9%増加)を計上しました。また、金融収益は投資有価証券評価益などにより398百万円、CEJファンドに係る損益115百万円、法人所得税費用は繰延税金費用などにより136百万円等を計上した結果、親会社の所有者に帰属する当期損失は492百万円(同739.1%増加)を計上しています。

以 上